

武道・スポーツ科学研究所年報 第5号・平成11年度・目次

I. 平成11年度(1999. 4～2000. 3)のプロジェクト研究

特別プロジェクト研究

21世紀の武道と研究の課題

- 小林啓三、柏崎克彦、大矢 稔、魚住孝至、大道 等、木村寿一…………… 1

A 武道・スポーツ文化研究部門

1. 武道文化に関する研究…………… (1)234

1) 武道関係実地調査研究

(1) 新発見の『二天一流兵法書』とその背景

- 魚住孝至

2) 近世武道文化の研究

(1) 「近世武芸伝書への視点と課題」

- 田中 守

3) 春秋戦国時代における軍隊武術の変化と民間武術の興起

- 林 伯原

2. 武道データベース化の研究…………… 11

1) 剣道用語のデータベース化の研究

—術里(1. 姿勢 2. 構え)—

- 大矢 稔、高橋 守、アレック・ベネット

3. スポーツ文化に関する研究…………… 19

1) 生涯スポーツ関連行動の実態・動向についての研究

—厚生大臣認定運動型健康増進施設のプログラムを中心に—

- 北條明美、石川 晋、酒井 誠、中島一郎、土居陽治郎、
黒川道子、中西 純、牧川 優

B 運動健康科学研究部門

1. 伝統的健康論における運動と健康生活に関する研究…………… 37

1) 東洋的行法に関する基礎的研究

(1) 静坐と呼吸法の行的側面についての一考察

- 田邊信太郎

(2) 逆腹式呼吸の脳波活動の特徴

(3) 低酸素環境下で行なう各種の呼吸法が動静脈酸素飽和度

と心拍数の改善におよぼす効果

- 山本正嘉

(4)呼吸と集中力について

●梶澤隆治

2. 健康に及ぼす運動の影響の研究..... 55

1) 発育期以降から始めた運動の実施が生体にどのような影響を与えるか
—発育期との比較—

●小林啓三、成澤三雄、猪股俊二、刈谷文彦、白 優覧、
春日規克、湊 久美子、朱 容仁

2) スポーツ傷害発生に関わる身体的・心理社会的コンディションについて

●小西由里子、冠木佳子、山本利春

3) ラット骨格筋の機能的向上に自発的運動量の違いが如何に影響を及ぼすか？
—筋収縮タンパク質組成からの検討—

●刈谷文彦、成澤三雄、小林啓三、白 優覧、朱 容仁

C スポーツ科学研究部門

1. 武道・スポーツにおける運動機能の効率的な評価方法に関する研究..... 85

1) 武道・スポーツ等の動作分析

—動きの指導場面における「言葉かけ」の研究—

●大道 等、山口 誠、宮崎善幸、木村賢子

2) 男子初心者におけるダンスの習熟過程

—基本動作と身体意識に着目して—

●佐藤みどり、古木竜太

3) ボールゲームにおける試合の流れを客観的に捉える試み(第3報)

—最終得点の予測を用いて—

●清水宣雄、奥山秀雄

2. 体力の評価方法に関する研究..... 129

1) 柔軟性評価としての筋硬度測定の妥当性に関する研究

●山本利春、井下佳織、鈴木由紀子、小西由里子

2) 球技選手の体力およびスキルに与えるウェイト・トレーニングの効果

—大学生男子バスケットボール選手における3年間の追跡調査から—

●奥山秀雄、安ヶ平 浩、岩井美樹、徳永文利、湯田一弘、
金久博昭

3. 脳の機能の評価方法に関する研究..... 149

1) トレーニングが運動中の大脳皮質活動に及ぼす効果の評価に関する研究

—Ⅲ. レジスタンス・トレーニングがトレーニングを行わなかった

—上肢および下肢の両側性機能低下に及ぼす影響—

●谷口有子、川津茂生、関 和彦

2) 運動と知覚の関係に関する実験心理学的研究	
—運動によって誘発された刺激に対する反応時間(4)—	
●川津茂生、谷口有子	
4. 内分泌機能からみた運動機能の評価方法に関する研究……………	169
1) 競技別生化学・内分泌学的検査データプロフィールの検討(4)	
●高橋正人、山本利春、小西由里子、蟹沢 泉	
2) 蛋白同化ステロイドを投与して運動を行った際の健康に及ぼす影響	
●河野俊彦、高橋正人、立木幸敏	
II. 武道・スポーツ科学研究所を活用しての行事……………	235